



# 愛知この一年

# ビジネスの進化にむけて

## パイオニアクリーン環境機器

あらゆるニーズに  
バイオエア精神で挑戦します。

品質向上のために

### クリーンルームダスター

(エアージャワー) ●PAT製品

- 3方向より同時吹き出し  
全身に付着したゴミ  
を吹き飛ばします。
- 床面より吸い取る  
清掃後の空気を足元  
から吸い取って回収  
します。

### エア吸着マット

●PAT製品

工場や事務所の通路、  
エントランスの中心に。

マット

ブラシで掻き出し  
エアで吸引  
・設置もメンテナンス  
・安全にも配慮

靴底の汚れは同時に清掃ユニットへ回収されます。

### 洗浄型パスボックス

オーダーメイド対応

「通箱」クリーニング

高速空気噴流でゴミ・  
異物を吹き  
飛ばす

特製スリル(PAT)で  
稼働にも対応可能

営業品目 クリーンルームダスター・シユースクリーナー・クリーンエアーカーテン・空気清浄機・エア吸着マット

株式会社 **パイオニア風力機**

本社 工場 〒489-0875 名古屋市中区千代田1-10-5  
 電話 営業部 0561-789-5115 本社 0561-789-5115  
 〒489-0875 名古屋市中区千代田1-10-5  
 〒489-0875 名古屋市中区千代田1-10-5  
 〒489-0875 名古屋市中区千代田1-10-5  
 〒489-0875 名古屋市中区千代田1-10-5

E-mail/info@patonia.co.jp URL/https://www.patonia.co.jp/

手方の産業用ロボットによる自動化システムを生産するほか、射出成形機用取り出しロボット大手のスターテック(大口町)をはじめグループ共同の製品展開エリアも整備する見込みだ。

新本社工場は3階建て、延べ床面積1万1320平方メートル。機械加工、組み立てを行う工場エリアのほか、機械の予まやラスト加工ができるロボットセンターも設けた。

4月をめどに整備を完了する製品展示エリアは面積約1380平方メートル。スターテックの多関節ロボットシステムや最先端ロボットを組み立てるロボットシステム、スターテックの取り出しロボット、ロボットパレットチャーターをはじめ、グループ4社の製品を堂に展示する。顧客向けに「産業用ロボット安全特別教育」を講ずるための部屋も設置した。

樹脂部品メーカーの国産化学(小牧市)を

協業を訴えてきた。今回、物理的にも近くなることで「グループ間を深める」(堀谷社長)。

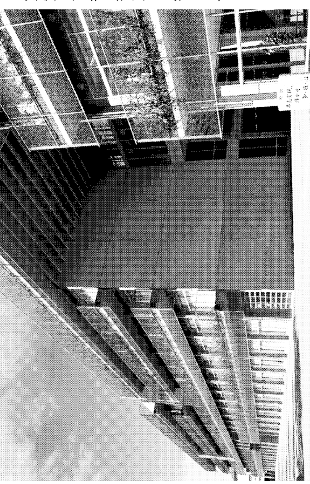
またにスターテックとスターテックの両社が初めて共同チームを組んだ開発プロジェクトが進行している。

23年に堀谷社長がスターテックの社長を兼務して以降、グループの

愛知県は高度なモノづくり人材の育成を目指す。愛知総合工科高等学校(名古屋市中区)内に「デザイン情報」を

愛知総合工科高校内に県立高専を設置する

## 新設高専でDX人材育成



愛知総合工科高校内に県立高専を設置する

「DXやAI(人工知能)の進展により社会や産業構造が大きく変化する中、複数分野を組み合わせる解決策を導く能力を「デザイン力」と位置付け、教育の中心に据える。

同学科内にはロボットやモビリティの仕組みや高度活用を学ぶ「ロボティクスコース」、AIやデータサイエンスなどの学びを深める「AI・デジタルコース」をそれぞれ設ける。

初代校長兼主任には名古屋大学副総長の水谷法夫氏を充てる。将

製造業を中心とする県内産業の競争力維持に向け、デジタル革新(DX)を推進する高度技術人材を育てる。デザイン情報工学科は定員40人。機械や電気電子技術とITを横断的に教育し、分野融合型の技術者を育成する。

DXやAI(人工知能)の進展により社会や産業構造が大きく変化する中、複数分野を組み合わせる解決策を導く能力を「デザイン力」と位置付け、教育の中心に据える。

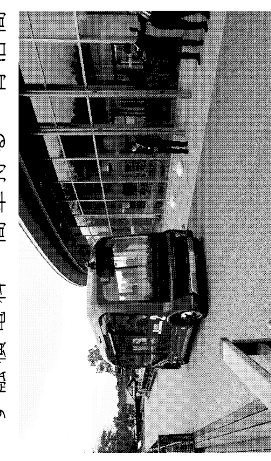
同学科内にはロボットやモビリティの仕組みや高度活用を学ぶ「ロボティクスコース」、AIやデータサイエンスなどの学びを深める「AI・デジタルコース」をそれぞれ設ける。

初代校長兼主任には名古屋大学副総長の水谷法夫氏を充てる。将

愛・地球博記念公園で自動運転表証を実施

としており、ドライバーの介入がほばない状態での実証を行う。期間は今年3月末まで。今回の実証では死角カーブやバツグンの走行を伴う折り返し走行、停留所での乗降対応などを重点的に検証する。実証に先立ち、試乗した愛知県の村野秀章知事は「折り返しのポイントもスムーズだったと感懐を述べた。自動運転の国内バスを想定したオペレーション課題も抽出する。

中国ベンチャーのeRid。製の自動運転ソフトウェアを使用した小型バスで実証する。BOLDLY(ボールドリー)実証拠点が同事業を統括し、名バス(名古屋市中村区)が運行を支援する。



愛・地球博記念公園で自動運転表証を実施

「世界にひとつ  
つくりまします。」

WEB  
工場見学  
開催中

〒489-0975 瀬戸市山の田町180番地  
TEL (0561) 89-5115 FAX (0561) 89-5119  
URL http://www.3-esu.co.jp  
Eメール info@3-esu.co.jp

期待を創造する **SAN-ESU**